SPA3102 取扱説明書 ver 3.6

このたびは、SPA3102をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

ご使用の前には、本書を必ずお読みください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

下記の製品が全て入っていることをご確認ください。

- SPA3102本体
- ACアダプタ
- ACアダプタプラグパーツ
- モジュラーケーブル
- イーサネットケーブル
- 取扱説明書

● 免責事項

- 機能・仕様については予告なく変更する事があります。
- お客様及び当社のネットワーク環境により、ノイズ・音の途切れ・不通などの現象が起こる事があります。また、通話品質の保証はいたしません。
- 個人の聴力により通話品質に差が生じた場合について、当社は一切の責任を負いません。
- 日本国外でのご使用に際する障害について、当社は一切の責任を負いません。
- SPA3102 は定期的なサーバメンテナンスを行うため、事前の告知なく一時的にサービスが停止する場合があります。
- 商品の故障、誤動作などの要因で電話が使えなかった事による付随的障害については、当社は一切その責任を負いません。

● お手入れ

柔らかい乾いた布で拭いてください。ぬれた雑巾は使用しないでください。ベンジン・シンナーなどの揮発性の薬品は本体を傷めますので、使用しないでください。科学雑巾をご使用になる時は、科学雑巾に添付の注意書をよくお読みください

● SPA3102とは

SPA3102 とは、アナログ電話機等をアジルフォンにてご利用いただく際に接続するアダプタです。
本製品をご利用いただくためには、インターネットサービスプロバイダーに加入しておくことが必要です。ご利用のモデムにブロードバンドルーター機能がない方は、別途ブロードバンドルーターが必要となります。

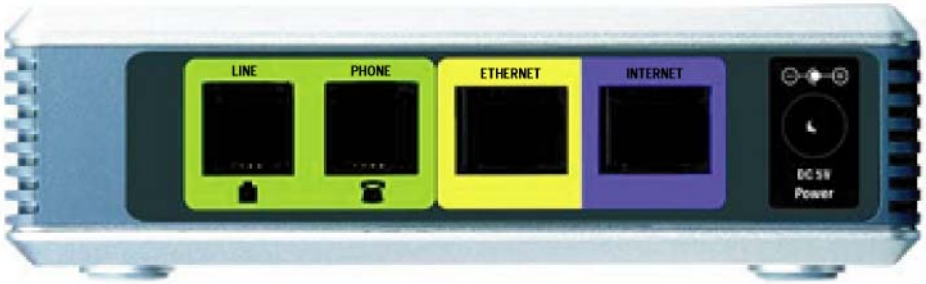
- 一般電話回線と併用する事が出来ます。頭に[0000]をつけて、電話番号を市外局番からダイヤルすると、一般電話回線から発信することが出来ます。IP 電話番号、一般電話回線番号どちらでも着信することが出来ます。
- ルーターとしてご利用出来ます。
  ※ 詳しくは本マニュアル後半をご覧下さい。
- アジルフォンでの着信で留守番電話がある場合、SPA3102 に接続された受話器を上げたときに「プププププ・・・」という音でお知らせします。留守番電話を聞く際には、[999]をダイヤルして、自動音声ガイダンスに従って下さい。

○ 前面（左から）

POWERランプ： 電源が入っている際に点灯します。
INTERNETランプ： ルーターとの接続や、上位ネットワークとの通信時に点灯します。
PHONEランプ： PHONEポートに接続した電話機がオフフックされている場合に点灯します。
LINE ランプ： LINE ポートに接続されている電話線が使用されている時に点灯します。

○ 背面

LINEポート： 一般電話回線と併用する場合に一般電話回線に接続します。
PHONEポート： 電話機を接続します。
ETHERNETポート： 設定の際にPCを接続します。本体のルーター機能を有効にした場合、PC等を接続します。
INTERNET ポート： ネットワークへ接続する際に使用します。



●　接続方法

① SPA3102本体のPHONEポートと電話機をモジュラーケーブルにて接続します

② 一般電話回線と併用する場合、本体のLINEポートと電話用壁コンセント又はDSLモデム等をモジュラーケーブルで接続します。

③ SPA3102本体のINTERNETポートとブロードバンドルーター又はDSLモデム等をイーサネットケーブルで接続します。

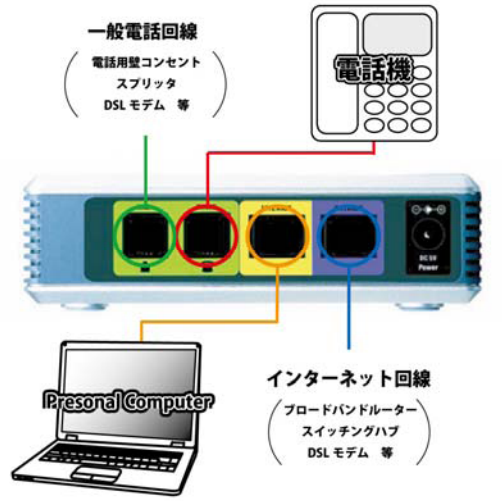
④ ACアダプタを本体に接続し、電源コンセントに差し込みます。

※　接続の順番は必ず守ってください。
　　ケーブル、アダプタは確実に差し込んでください。

※　接続してから通話ができるまでには数分かかりますので、しばらくお待ちください。

※　接続する電話機は、「トーン」に設定します。「パルス」設定だと発信が出来ません。

注意！　PHONE　ポートと一般電話回線（電話用壁コンセント等）を絶対に接続しないで下さい。機器や電話回線の故障の原因となります。



●　設定方法

① SPA3102本体のETHERNETポートとPCをイーサネットケーブルで接続します。

※　設定後に、SPA3102のルーター機能/ブリッジ機能を使用しない場合、ETHERNETポートから取り外します。

② webブラウザから、設定ページを開く。

SPA3102に接続されたPCから、インターネットエクスプローラー等webブラウザを起動し、

アドレス欄に以下のように入力し、PCのEnterキーを押します。

http://192.168.0.1/

※　SPA3102本体のパスワードを有効にした場合、ユーザー名（デフォルト＝user）とパスワードの入力が必要です。

※不正ログインを防止するため、必ず任意のパスワードに変更して下さい。
　変更方法が不明な場合、アジルクラウドPBXサポートまでお問い合わせください。

③ 設定画面がwebブラウザに表示されますので、画面右上の［ Adminlogin ］ をクリックし、［ advanced ］ をクリックします。

● 電話設定

画面上部［ Voice ］タブをクリックします。

［ Voice ］タブ下［ Regional ］、［ Line1 ］、［ PSTN Line ］について、それぞれ設定します。

○ ［ Regional ］設定

［ Voice ］タブ下［ Regional ］タブをクリックし以下のように設定します。

［ Distinctive Ring pattern ］

［ Ring1 Cadence ］:［ 60(1/2) ］ に変更します。

［ Miscellaneous ］

［ Set Local Date (mm/dd) ］:　現在の日/月/西暦の下2桁を入力します。　（例.　2008年1月30日の場合　30/01/08　）

［ Set Local Time(HH/mm) ］:　現在の時間/分を入力します。　　（例.　午後7時5分の場合　19/05　）

［ Time Zone ］:　［ GMT＋09:00 ］を選択します。

※　別途NTPサーバーの設定（時刻自動設定）をする場合

上部タブより、［ Router ］→［ Wan Setup ］をクリックし、

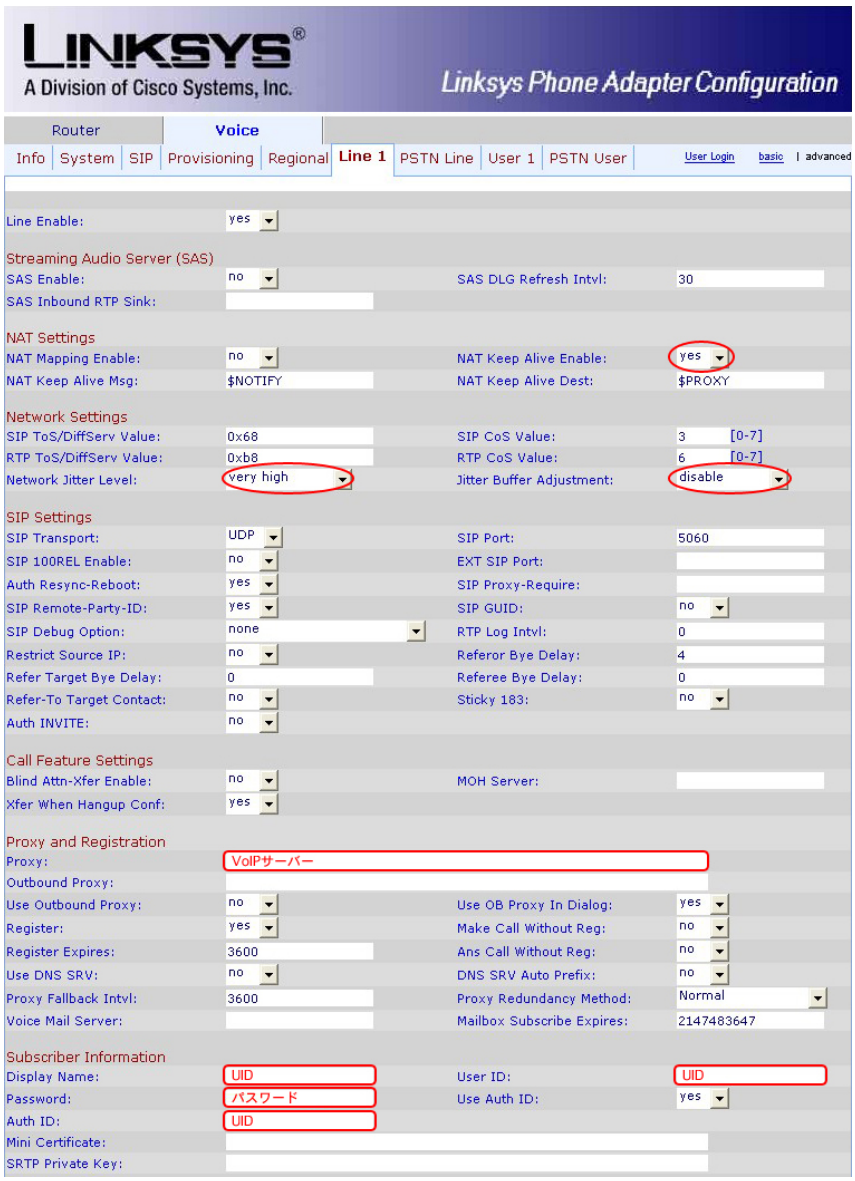
［ Optional Settings ］

［ Primary NTP Server ］:「ntp.jst.mfeed.ad.jp」または「任意のNTPサーバー」を入力します。

設定が終わりましたら、ページ下部 Submit All Changes ボタンをクリックします。本体が再起動され、設定が反映されます。

○ ［ Line1 ］設定

［ Voice ］タブ下［ Line1］タブをクリックし以下のように設定します。



［ Nat Settings ］

［ NAT Keep Alive Enables ］:　［ yes ］を選択します。

［ Network Settings ］

［ Network Jitter Level ］:　［ very high ］を選択します。

［ Jitter Buffer Adjustment ］:　［ disable ］を選択します。

［ Proxy and Registration ］

［ Proxy ］:　**VoIP サーバー**を入力します。

［ Subscriber Information ］

［Display Name］, ［ User ID ］, ［ Auth ID ］:

UID（10 桁の数字）を入力します。

［ Password ］:

登録時にメールでお伝えしたパスワードを入力します。

もし、マイページ内「UID 管理」にてパスワードの変更を行った場合は、その変更したパスワードを入力します。

［ Use Auth ID ］:　［ yes ］を選択します。

[Supplementary Service Subscription]

[Call waiting Serv]: [no] を選択します。

[Three Way Call Serv]: [no] を選択します。

[Audio Configuration]

[Use Pref Codec Only]: [yes] を選択します。

[DTMF Tx Method]: [AVT] を選択します。

[FAX Disabule ECAN]: [yes] を選択します。

[FAX Enable T38]: [yes] を選択します。

[Silence Supp Enable]: [no] を選択します。

[Echo Canc Enable]: [no] を選択します。

[Echo Supp Enable]: [no] を選択します。

[FAX Passthru Codec]: [G711u] を選択します。

[FAX Passthru Method]: [ReINVITE] を選択します。

[Dial Plan]

[Dial Plan]:

『 (<0000:>xx.<:@gw0>|xx.|*x.|**x.|***x.|*x.*x.|*x.*x.*x.|#x.|#x.*x.|#x.*x.*x.) 』

を入力します。

※ 『』内全てを半角英数で入力します。

※ 正しく入力が出来ましたら、頭に0を4つつけて発信すると、接続した一般回線からの発信が出来るようになります。

○ ［ PSTN Line ］設定

［ Voice ］タブ下［ PSTN Line ］タブをクリックし以下のように設定します。

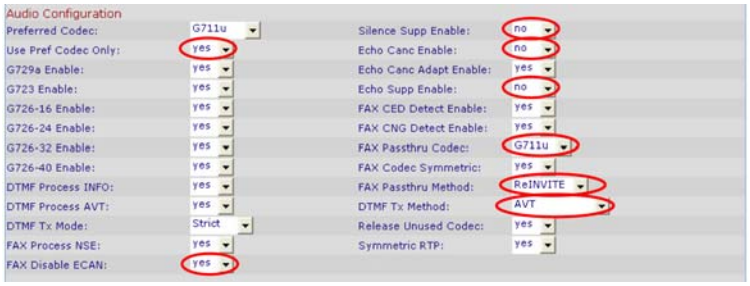
［ Nat Settings ］

［ NAT Keep Alive Enables ］:　［ no ］を選択します。

［ Network Settings ］

［ Network Jitter Level ］:　［ very high ］を選択します。

［ Jitter Buffer Adjustment ］:　［ disable ］を選択します。



［ Audio Configuration ］

［ Use Pref Codec Only ］:　［ yes ］を選択します。

［ FAX Disabule ECAN ］:　［ yes ］を選択します。

［ Silence Supp Enable ］:　［ no ］を選択します。

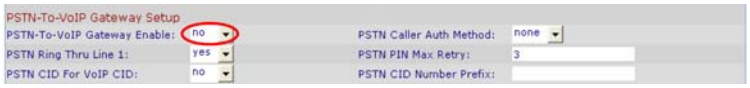
［ Echo Canc Enable ］:　［ no ］を選択します。

［ Echo Supp Enable ］:　［ no ］を選択します。

［ FAX Passthru Codec ］:　［ G711u ］を選択します。

［ FAX Passthru Method ］:　［ ReINVITE ］を選択します。

［ DTMF Tx Method ］:　［ AVT ］を選択します。



［ PSTN-To-VoIP Gateway Setup ］

［ PSTN-To-VoIP Gateway Enable ］:　［ no ］を選択します。

全ての設定が終わりましたら、ページ下部の　Submit All Changes　ボタンをクリックします。本体が再起動され、設定が反映されます。

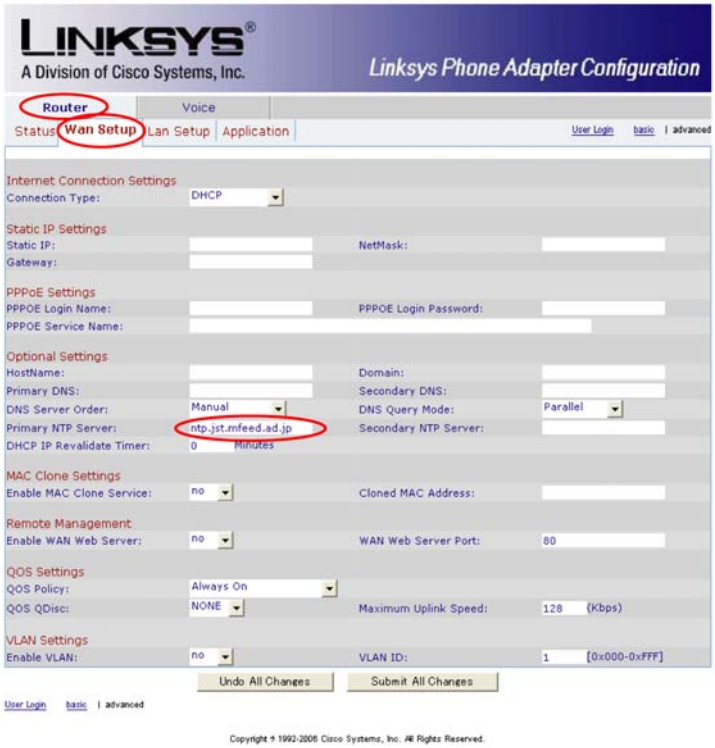
● ルーター設定

SPA3102のルーター機能をご利用される場合のみ設定します。

画面上部［ Router ］タブをクリックします。

○ ［ Wan Setup ］設定

［ Router ］タブ下［ Wan Setup ］タブをクリックし以下のように設定します。



［ Internet Connection Settings ］

［ Static IP Settings ］

［ PPPoE Settings ］

［ Optional Settings ］

ご契約のインターネットサービスプロバイダから指定された設定にします。

［ Primary NTP Server ］: 「ntp.jst.mfeed.ad.jp」または「任意のNTPサーバー」を入力します。

［ MAC Clone Settings ］

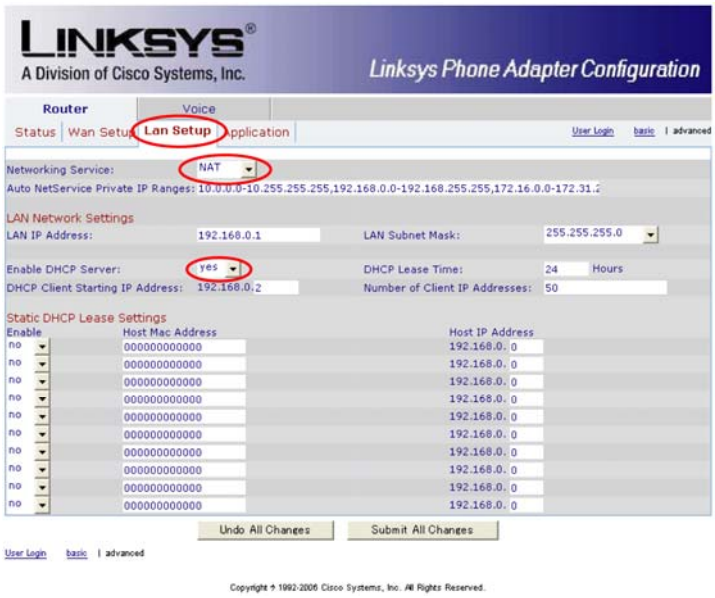
［ yes ］を選択した場合、入力欄に入力したMACアドレスを通知して接続します。

［ Remote Management ］

［ yes ］を選択した場合、WAN側から入力欄に入力したポートでの、設定画面への接続を許可します。

○ [Lan Setup] 設定

[Router] タブ下 [Wan Setup] タブをクリックし以下のように設定します。



[Networking Service]： LAN側のネットワークタイプを選択します。通常は [NAT] を選択します。

[Auto NetService Private IP Ranges]： LAN側で使用するIPアドレスを設定します。通常は設定の必要はありません。

[LAN Network Settings]

[LAN IP Address]： EthernetポートのIPアドレスを設定します。通常は [192.168.0.1] を設定します。

[LAN Subnet Mask]： LAN側のサブネットマスクを設定します。通常は [255.255.255.0] を設定します

[Enable DHCP Server]： DHCPの設定をします。通常は [yes] を選択します。

[Static DHCP Lease Settings]

固定IPアドレスをMACアドレス毎に指定する場合に設定します。通常は設定の必要はありません。

○ [Application] 設定

[Router] タブ下 [Application] タブをクリックします。

ポートフォワーディング、DMZ等の設定が可能です。通常は設定の必要はありません。

全ての設定が終わりましたら、ページ下部の Submit All Changes ボタンをクリックします。本体が再起動され、設定が反映されます。

●　安全にお使いいただくために

本書では、製品を安全にお使いいただくための注意事項を次のように記載しています。

注意事項を守っていただけない場合、どの程度の影響があるかを表しています。

この表示の注意事項を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示の注意事項を無視して誤った取扱をすると、人が障害を負う可能性が想定される内容を示しています。

煙が出たり、変なにおいがするときは電話機コードを抜く

そのまま使用すると、火災や事故の原因となります。お買い上げの販売店に修理を依頼してください。

分解・改造しない

火災・感電・故障の原因となります。

開口部から金属類を差し込んだり、落とし込んだりしない

万一、入った時は電話機のコードを抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。

内部に水や異物を入れない

水や異物を入れると、火災・感電の原因となります。万一、水や異物が入った時は、電話機のコードを抜き、販売店に連絡してください。

故障や異常状態のまま使用しない

火災・感電の原因となります。

雷が発生したときは、本機に触れない

感電の原因となります。

風呂やシャワー室では使用しない

火災・感電・故障の原因となります。

本機の上や近くには水などの入った容器や小さな金属物を置かない

こぼれたり、中に入ったりすると火災・感電・故障の原因となります。

水などで濡らさない

本機は生活防水タイプではありません。万一、内部に水などが入った時は電話機のコードを抜いて販売店にご連絡ください。

そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。

調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気があたるところに置かない

火災・感電・故障の原因となることがあります。

直射日光の当たるところに置かない

内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

湿気やほこりの多いところに置かない

火災・感電・故障の原因となることがあります。

極端に寒いところや急激な温度変化のあるところに置かない

故障の原因となることがあります。

不安定な場所や振動の多いところに置かない

落ちたり、倒れたりすると、けが・故障の原因となることがあります。

受話器の受話部に吸着物がないか確認してから使う

受話器の受話部の磁石に、画鋲やピン、ホチキスなどの金属が付着し、思わぬけがをすることがあります。

●　故障かな？と思ったら

修理・交換を依頼する前にもう一度下記の表をご確認ください。

それでも具合の悪いときは、アジルショップ<sup@agile.ne.jp>まで、お問い合わせください。

症状	原因	処置
障害全般	電源ケーブルの抜き差しをお願いします。（数回行ってください） 電源ケーブルを抜いてから再度接続するまでは、1分以上お待ちください。 上記を行っていただいても改善されない場合は、shop@agile.ne.jp　まで、ご利用のルーターのメーカー・名称・商品番号及びブロードバンド環境をご連絡ください。	
呼び出し音が鳴らない	イーサネットケーブルがはずれていませんか。	イーサネットケーブルの接続を確認してください。
	ACアダプタがはずれていませんか。	ACアダプタの接続を確認してください。
	接続された電話機の呼び出し音量の設定を変更しましたか。	電話機の呼び出し音量を調節してください。
	設定を変更しましたか。	変更した設定を、本書を参考に元に戻してください。
通話が途切れる ノイズが入る	ネットワーク環境に異常はありませんか。	ネットワーク環境を確認し、問題箇所を修復してください。

●初期化方法

初期化作業を行うと設定されたデータが全て消去されます。
初期化作業後はご利用のサービスに必要な情報を再度設定する必要があります。

1. SPA3102 に接続さ

   受話器から「 LinkSys Configuration … 」という英語音声が流れます。

2. 電話機より「 73738# 」と入力します。受話器から「 Enter One …」という英語音声が流れます。

3. 電話機より「 1# 」と入力します。受話器から「 Option Success …」という英語音声が流れます。

4. 受話器を置くとSPA3102が再起動され、設定が初期化されます。

   ※　英語音声は聞き取りにくいのでご注意下さい。

機能・設定に関する詳細及びFAQは、ウェブサイトでご確認ください。

http://www.agile.ne.jp/support/

お問合せはメール及びお電話にて受け付けております。

mail to：　sup@agile.ne.jp

電話番号：050-3159-4502

平日10:00～19:00